



主催者挨拶  
 一般社団法人 長崎県情報産業協会 (NISA)  
 副会長 須藤 英明

2021年1月21日(木)長崎市内「ホテルセントヒル長崎」(長崎市筑後町4番10号)に於いてNISA主催の「令和3年 新春講演会」を開催しました。

会場の2階「妙見の間」において「我が社の一押し発表」、「最新技術発表」及び「特別講演」を開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、「産学官交流会(懇親会)」を中止し、講演会のみを開催しました。長崎県では、1月6日に新型コロナウイルス感染段階が「ステージ4」へ引き上げられたため、会場への参加人数を制限してオンラインによる参加を主体とした講演会を開催しました。

主催者挨拶は、急用のため欠席した濱本浩邦会長の代理として須藤英明副会長が行いました。



講演会の会場(妙見の間)には、主催者の当協会役員、事務局、及び講師関係者等、18名が参加しました。

講演会には、会場への出席者と、オンライン(Webex)参加のNISA会員のほか、会員外の県、市、大学、団体などから合計約70名に参加して戴きました。

各講演において参加者からの質問や講師との意見交換が行われました。

## 新春講演会 「わが社の一押し」発表



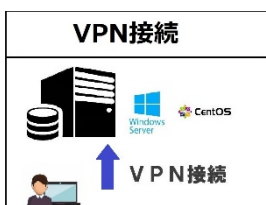
(株) アドミン 代表取締役 山口 知宏様

### 【演題】『長崎発！サイバー企業』 【講師】 (株)アドミン

株式会社アドミンは、2009年3月に個人事業として創業した会社で、出島発のシステムインテグレータとして、システム開発をはじめIoTソリューション、ロボティクスソリューションなど、これからの時代に重要な役割を担うテクノロジー関連事業を推進している。

2020年7月に全国に先駆けて、長崎発の「サイバー企業」として独自の成長戦略を持って事業拡大を目指している。

また、オフィスレス企業として、約30名の社員は、全員テレワークを行い、会社サーバーとVPN接続して効率の良い事業を展開している。現在、東証グロース(マザーズ)市場への上場を目指している。



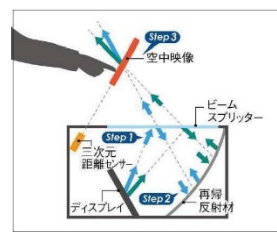
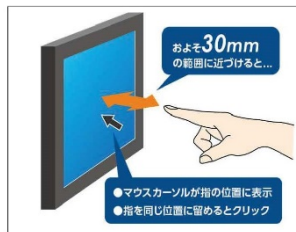
## 新春講演会 「最新技術発表」



三菱電機エンジニアリング (株) 長崎事業所  
事業推進部 部長 澤井 康彦様

### 【演題】 『非接触で操作可能なタッチパネルモニターの開発』 【講師】三菱電機エンジニアリング(株) 長崎事業所

画面に触らずに操作できる「非接触式」の「タッチレス機能付きモニター」と、空中映像で操作ができる「空中タッチディスプレイ」の試作機を開発したので紹介する。「タッチレス機能付きモニター」はセンサーの認識感度を上げて画面から約3cm離れた位置から指でマウスカーソルを操作して、指を一定時間留めることで非接触でクリック操作ができる。また、「空中タッチディスプレイ」はディスプレイの画像を特殊な素材に反射させて空中に映像を浮かび上がらせ、手や指先の動きを3次元距離センサーで判別して空中に浮かぶ映像で操作ができる。画面に汚れや傷がつかず、新型コロナウイルス対策としても接触感染リスクの低減に貢献できるなどの特長がある。



## 新春講演会 「特別講演」



長崎県企画部 政策監 兼 産業労働部 政策監  
三上 建治様 (前・経済産業省デジタル戦略官)

### 【演題】 『最新のICT状況 ～米国CES2021、地球温暖化対応～』 【講師】長崎県企画部・産業労働部

世界最大級の家電・技術見本市(デジタル見本市)「CES2021 (コンシューマー・エレクトロニクス・ショー2021)」が2021年1月11日～14日に開催された。新型コロナウイルス感染症の拡大で我々の生活が大きく変わる中、21年のビジネスの在り方を展望するために、マーケティングDX(デジタルトランスフォーメーション)、通信、モビリティなど、見逃せないイベントである。

参加企業は、昨年の約4600社に比べて、今年は約1700社と大きく減ったが、ビデオ展示に工夫を凝らす企業も多く見られた。前回は米国ラスベガス(現地)での開催であったが、今回は完全オンライン化して開催されたため、より身近に感じられるイベントであった。今回の講演は、主に下記について紹介する。

- ①米国CES2021から見る技術・製品トレンド
  - ②DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展
  - ③世界的な脱炭素化の動き(地球温暖化対応)
  - ④日本政府の動向(2050年脱炭素社会の実現を目指す)
- 今後は、2050年の社会実装に向けて検討の加速が必要である。

#### ダイナミック・ケイパビリティの実現 = DXの意味

- ダイナミック・ケイパビリティの要諦は「感知」「捕捉」「変容」の3能力。
- これらの能力を高めるためには、「デジタル化」が有効。
- デジタル化は「ダイナミック・ケイパビリティの強化」。※デジタル化がゴールでない

#### ダイナミック・ケイパビリティの3能力

- ①脅威・機会の**感知** (Sensing)
- ②機会を**捕捉**して、資源を再構成・再結合し、競争優位を獲得 (Seizing)
- ③競争優位性を持続可能なものにするために組織全体を**変容** (Transforming)

#### デジタル化により強化

- ・データの収集・連携
- ・AIによる予測・予知
- ・3D設計やシミュレーションによる製品開発の高速化
- ・変種変量
- ・柔軟な工程変更

古代から現代にわたって、戦いの「必勝」の根幹にあるもの  
(例：孫子、三國志、源義経、織田信長、ナポレオン、日露海戦)

= 如何に、早く**情報** (己と相手) を得て、それを活かすか？